



★羅針盤 No.91

*秋彼岸を境目に例年季節が変わり、店頭には新米が並びます。今年は米の収穫直前に台風で稲が倒れて大きな被害が出たというニュースを聞きませんが、昨年は台風10号の被害で大打撃を受けたジャガイモの影響でポテトチップ業界が大変でした。天災は不意に襲います。台風や地震だけではなく、火山国日本では毎年のようにどこかで火山噴火が起っています。H26年の御嶽山の被害は衝撃でした。噴火口近くでお弁当を開いた途端に飛ばされたグループもあったとか。それほどに噴火の予知は難しいのでしょうか。先ごろ新聞に、富士山の噴火に備えてという記事がありました。大噴火が起れば降灰は100km先までともいわれています。富士山火口から新宿都庁迄が95km。給水停止、停電、交通網の麻痺、そして一番はパニックになることでしょう。東京オリンピック前にも起こるのではとの予想もあり、平時こそ荒天準備をといわれますが・・・何をどうすれば良いのか。難しいテーマです。

*東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物処理を“いつでも”お受け致します。ヤードも広くなりました。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



東港金属株式会社
 東京都大田区京浜島2-20-4
 電話 03-3790-1751
 URL <http://www.tokometal.co.jp>
 (見学受付)
 電話03-3790-1751 又は 各営業担当

★羅針盤

鉄・非鉄スクラップ・・・市況からの10月予測

営業部 Y の考察



- 鉄スクラップ** → 考察) 9月は東京製鉄宇都宮工場特級価格32,500円/トンでスタートし途中33,000円/トンに上げましたが、最終日に32,500円/トン。10月に至っては、トルコ・韓国等の輸出価格の下げが国内市場にも波及し始めているため下るでしょう。
- 銅** → 考察) 9月はLME6,750ドル/トン台国内銅建値790,000円/トンでスタートし、すぐに800,000円/トンに上昇。LME7,000ドル/トンまでは届かず、最終的には、LME6,500ドル台、国内銅建値760,000円/トン。10月に関しては為替が円安であり、世界的に金属需要が拡大しているため上がると思われま
- アルミ** → 考察) 9月はLME2,100ドル/トンをキープ。中国の金属精錬所に対する環境規制強化で稼働停止報道・電気自動車への完全シフト政策等の影響もあり10月はあがるでしょう。
- プラスチック** → 考察) 廃プラの中国輸出が完全に止まる為、低品位プラはもちろん高品位プラに関しても、売り先が絞られ行き先が無くなりつつあります。10月以降は、廃プラの輸出はさらに厳しくなるでしょう。

9月予測の自己評価

- 鉄スクラップ × アルミ ○
- 銅 × プラスチック ○



「私の地元・学生時代」 (第6回)

あの猛暑が収まり、秋分の日も過ぎた中秋のこの気候は、個人的には過ごしやすい気候であり、美味しい食べ物も多いのでかなり好きな時期です。

ところが今年、秋の代表的味覚であるサンマの漁獲量が過去最低レベルとのニュースが。昨年の半分程度しか獲れていないとのデータがあるようで、価格は高騰しなんと1匹600円以上するお店も！

こうなってはもはや高級魚ですね。私もなかなか手を出せず、まだ秋を実感する事ができずにいます・・・

さて、「私の地元・学生時代」は今回が最終回です。

親や教師に説得されて渋々と大学進学した私ですが、実際に入ってみるとこれが楽しい。

サークル活動、飲み会、バイト、たまに勉強という、大学生によくありがちな生活でしたが、高校よりもはるかに自由な生活に毎日浮かれておりました。(勿論、今ではもう少し真面目に勉強すべきだったと反省しております。)

2年、3年とそんな平凡な生活を続け、気付いたら大学4年生に。あっという間に就活がスタートしてしまいました。

そして、東港金属との出会いはそんな就活真っ只中、宇都宮で開催された合同企業説明会においてでした。

当時メーカー志望だった私は東港金属のブースには興味がなかったのですが、かなり熱心に勧誘されたので仕方なく話を聞いてみることに・・・

すると、そこには私の知らない世界があったのです。

非鉄、産廃・・・それまでリサイクル業に何の興味も知識もなかった私にとっては、全てが新鮮でした。

普段自分の周りにある物がどのようにリサイクルされているのか、自分がゴミだと思っていた物が実は貴重な資源である事などを知っていく中で、気付いたらこの業界に入りたいという気持ちに変わっていたのです。

そして現在、入社1年半が経ちました。

私はグループ会社であるトライメタルズへ配属され、主に輸出品目の流通に携わっています。一般的な国内再生とはまた少し違いますが、こちらも非常に面白い業界であり、日々勉強を続けております。

こういったスクラップ・産廃業界の実情については、私がそうであったように世間一般への認知度はそれほど高くありません。

しかし、今後どれだけIT化が進もうとも、決して無くなる事のない業界であり、エコが叫ばれている近年、そして将来はより重要性が増してくると確信しております。まだまだ知らないことが多いですが、仕事の中で知識を積み重ねられることに感謝して毎日を大切にしています。

創業115周年を迎えた東港金属、そしてトライメタルズを今後ともよろしくお願ひ致します。

トライメタルズ株式会社 高橋諒)

★羅針盤

「自転車活用推進法」

極めて身近な交通手段である自転車の活用が、交通、環境、健康増進等において重要な課題であるとして、本年・平成29年5月1日「自転車活用推進法」が施行されました。

同時に、国土交通省に「自転車活用推進本部」(本部長:国土交通大臣)が、また国土交通省道路局に「自転車活用推進本部事務局」(各府省庁職員が併任で担当)が設置されました。

また、5月5日「自転車の日」、5月「自転車月間」と決まりました。今号では、「自転車活用推進法」の概要を簡単にご紹介します。

基本理念

- ・自転車は、**二酸化炭素等を発生せず、災害時において機動的**
- ・自動車依存の低減により、**健康増進・交通混雑の緩和**等、経済的・社会的な効果
- ・交通体系における自転車による交通の役割の拡大
- ・交通安全の確保

↓

自転車の活用を総合的・計画的に推進

国、地方公共団体、国民等の役割

- ・国 : 自転車の活用を**総合的・計画的に推進**
- ・地方公共団体 : 国と適切に役割分担し、**実情に応じた施策を実施**
- ・公共交通事業者 : **自転車と公共交通機関との連携等に努める**
- ・国民 : 国・地方公共団体の**自転車活用推進施策への協力**

基本概念に沿って、自転車専用道路等の整備、シェアサイクル施設の整備、公共交通機関との連携の促進、国民の健康の保持増進、災害時の有効活用体制の整備、高い安全性を備えた自転車の供給体制整備 等々の施策を基本方針として重点的に検討・実施していくことになりました。

既に全国では、多くの自治体が自転車施策の導入・検討を行っており様々な運用が行われています。

高齢化の進む今、町が整備され、「公共交通の機能補完」としてシェアサイクルを活用することで健康寿命を延ばしていく都市が増えることが出来れば、温暖化防止への貢献へつながることも期待されます。

詳細は、国土交通省ホームページ「自転車活用推進法について」を、ご確認ください。

<http://www.mlit.go.jp/road/bicycleuse/pdf/about.pdf>